

聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成 24 年 9 月 1 日
〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目 10 番 31 号 電話 093 (541) 2409 番

念仏のすくい

藤田 徹文

サラ金におわれている人が、無利子・無催促で金を貸してやろうという人に出会ったら、「すくわれた」というでしょう。また、病気で長い間苦しんできた人が、その病気を治してもらったら、「すくわれた」とよろこぶでしょう。悪い状態にある人が、その状態から解放されたら、「すくわれた」といいます。「すくい」とは、悪い状態からの解放なのです。

念仏の「すくい」も、悪い状態にある私を、その状態から解放することをいいます。私は今どのような状態にあるのでしょうか。

念仏は、私たちのあり方を明らかにし、その状態から解放してくださるはたきです。いろいろのものに縛られて動きをとめられて呻吟している私たち。すなわち、他人の目や言葉に縛られ、日のよしあし、方角、干支、印相、墓相等に縛られ、悪霊がついた、水子の霊が祟った、先祖の霊が迷っているなどと、オロオロしている私たちです。そうかと思うと、自らの過去にしばられ、未来におびえているのも私たちです。いや、それだけではありません。自らの欲望に引きずりまわされ、自らの怒りに身を焼かれて苦しんでいる私たちです。

このような私たちのあり方を明らかにし、このような状態から解放してくださるのが念仏です。念仏は、私たちが称えさせていただくものですが、私たちの称える念仏は、そのまま阿弥陀如来の私たちを案じ、はげまし、つつんでくださる声であります。

「誰がどのような目で見ようが、どのような言葉を浴びせようが、私はわかっています。元気を出して生きなさい」

とはげまし、ゆるる私たちをささえてくださる声が南無阿弥陀仏です。

「日がよかろうが、印相がどうであろうが、何がつこうが、祟ろうが、私がしっかり護っています。何ものをもおそれることなく生きなさい」

と勇気づけ、おびえる私たちをあたたかくつつんでくださる声が南無阿弥陀仏です。

「過去に何があろうが、未来に何が待っていようが、いつも私がいっしょです。前を向いて、私といっしょにこの人生を生きましょう」

と手をとりきてくださる声が南無阿弥陀仏です。

欲望や怒りで自己を見失う私たちを、常に呼び覚ましてくださる声が南無阿弥陀仏です。

この南無阿弥陀仏の声にささえられ、つつまれ、また、目覚めさせられて、はじめて私たちは悪い状態から抜けだしていく勇気と力を得るのです。念仏にはげまされ、勇気づけられ、立ち上がって、自らの足を一步踏みだすとき、私たちは悪い状態から解放されます。

念仏は、声となって私たちをはげまし、つつんで、私たちをすくってくださるのです。

2012 神岳保育園 かすみ草の会

夏のつどいバザー出店!

夏のイベントはやっぱり外に限ります。今年も保育園の「夏のつどいバザー」に出店参加。年々フルーツポンチは大好評。用意した150食はあっという間に完売しました。物品バザーへのご協力もありがとうございました。売上金は、かすみ草の会の活動資金、東日本大震災募金に使わせていただきます。少し日が落ちると提灯を明りにして盆踊りや小倉祇園太鼓は盛り上がりです。園児らはたくさんの拍手を頂いて笑顔が輝いて見えました。沢山の温かいご協力を頂いて今年も夏が終わります。感謝



かすみ草の会、会員の方々の手作り品です。今年も素敵なお品を作っていました。



正善寺 秋のバスツアー

山口別院へ参拝しよう!秋穂のえびづくしに行こう!

- ◎ 日 時 平成24年10月10日(水) 8時30分出発18時帰寺予定
- ◎ 行程と申込み 別途にチラシをご覧いただき、お寺まで申し込みください。

お 願 い

この度の前坊守の十七回忌を縁として、発願者の遺徳を偲びつつ、『鐘楼堂改修工事』を完成しようと再度協議、発願をいたしました。つきましては別紙趣意書をご覧の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。 称 名

平成二十四年九月

正善寺 門徒総代一同 ・ 住職

門 信 徒 各 位 様

- ◎ 別添の「十七回忌記念事業特別懇志袋」に入れてお寺にお届けください。
- ◎ 九月十二・十三・十四・十五日の年忌・彼岸法要時、また彼岸中の寺参り、十一月の報恩講法要の際にお持ちいただいても結構です。

こ 案 内

前坊守十七回忌法要



と き 平成24年9月12日(水)

昼 席 午後3時よりお勤め・お焼香

当山位職 あいさつ ・ 法 話 一 席

布教講師 (八幡東区宮の町・慈光寺)

位 職 柳 原 浩 文 師

秋 季 彼 岸 法 要

と き 平成24年9月13日より15日まで

	13日(木)	14日(金)	15日(土)
昼 席	午後1時30分	午後1時30分	午後1時30分
夜 席	午後7時30分	午後7時30分	

講 師 (下関市)

本願寺派布教使 寺 田 教 昭 師

どうぞお誘いあわせのうえお参り下さい。

ネエネちょっとおたずね?

『お寺の法要に行く時にはどうしたらいいの?』

法要は、お勤め(お経を読んで聞くこと)と、御法話(講師の先生による仏様のお話)を聞かせていただくことが行われています。間でお茶とお菓子の接待をいたします。

参列時には、お念珠・経本(お寺にもあります)を持ってきましょう。合わせて仏前の懇志(お気持ち)をお供えしていただくとありがたいことです。開催中は毎日、毎座参加自由です。全部を通してお話を聞くといいですよ。また一度の懇志でいいですよ。お友だちも一緒にどうぞ。

納骨堂掃除・彼岸法要準備会

9月8日(土) 10:00より15:00まで

本堂の荘厳(おかざり)、納骨堂の掃除

たくさんの皆さんのお手伝いをお待ちしています。

短い時間でもかまいません。

よろしくお願いします。昼食用意しています。

第78回

かんたけほいくえん

うんどうかい

とき 10月7日(日)

9:30より

ところ 寿山小学校運動場

雨天時 体育館で行います

見に来てねえー

次回の法要のご案内 親鸞聖人御正忌 報恩講法要

【とき】 平成24年11月

昼席 13時30分

16日(金) 昼席のみ 17日(土) 昼席のみ 18日(日) 昼席のみ

おとき 18日(日) 12時より

【講師】 大分県宇佐市 崇福寺前任職 本願寺派布教使 前田賢聖師

浄土真宗の一年でもっとも大切な法要です。家族みんなで参りましょう。

編集後記

日中は、まだまだ暑い日が続いています。空の色や、夕方の景色は秋色になっています。皆様、お元気でお過ごしでしょうか？お盆にはたくさんの方々がお寺に足を運んで下さり、お参りされる姿に喜びを頂いた三日間でした。ご家族のどなたかが亡くなられた時、「それまで手を合わすこともなかった」と言われた方が毎月、毎年お盆に参られて、「南無阿弥陀仏」と合掌される姿に頭がさがります。時々「南無阿弥陀仏・・・よろしくおねがいします」と願掛けをされている方もいますが(笑)「私たちは自分の願いには敏感ですが、仏様の願いにはあまり気づこうとはしません。実は私たちが願う前に、眼には見えない仏様の方から私たちに願いがかけられていたのです。」(はじめての親鸞様、森田真円先生著)手を合わせることのなかった人生が大切な人を亡くした悲しみを乗り越えて手を合わせる人生に変わっている、それは亡くなった方(仏様)からの贈り物だと思います。「あなたを守り、ずっと大切に想うよ」とかたりかけていて下さる想いが手を合わせている私のすがたになっているのだと思います。だから手を合わす姿は本当に美しいのだと。「阿弥陀如来の本願は、かならず救う任せよと、南無阿弥陀仏のみ名となり、たえずわたしに呼びかけます」(拝読浄土真宗のみ教え) この度の前坊守の十七回忌、秋のお彼岸法要、どうぞお参り下さい。心よりお待ちいたしております。 称名